

【テーマ2】 中小企業の活力が発揮できる環境づくり –経営・技術・資金面にわたるトータルサポート–

めざす方向

◎事業の持続的発展に取り組む中小企業や創業・ベンチャー企業等に対し、経営・技術・資金面にわたるトータルサポートを実施することで、府内企業の大多数を占める中小企業の活力が発揮できる環境づくりをめざす。

中小企業の持続的発展のための支援

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H31.3月末時点）>
<p>■ 商工会・商工会議所や金融機関等の支援機関、国・市町村などと連携し、事業承継支援に集中的に取り組む</p> <p>○ 商工会・商工会議所、金融機関等の支援機関で構成する「大阪府事業承継ネットワーク」を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継診断の実施 ・事業承継相談デスクの設置 ・府全域でのセミナー開催 ・事業承継診断等から得られた情報をもとに大阪産業経済リサーチセンターとともに分析を実施 	<p>◇ 成果指標（アウトカム）</p> <p>（数値目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継診断・分析： 5,000 件以上 	<p>○ 商工会議所等の経営指導員等が訪問や窓口相談等を通じた「事業承継診断」を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診断件数： 16,435 件（うち、商工会議所 1,426 件（2 月末実績）） <p>○ 事業承継診断の実施に併せ、企業ヒアリングも実施。事業承継診断から得られた情報を分析し、経営指導員など支援者向けのハンドブックを作成。（H31.2）</p> <p>○ 商工会・商工会議所が、事業承継計画の策定や後継者育成など 116 件の伴走型支援を実施（9 月末実績）。【数値は変更予定】</p>

創業促進・ベンチャー企業の成長支援

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H31.3月末時点）>
<p>■ 関係団体との連携を強化し、オール大阪でのベンチャーエコシステムの構築に取り組む</p> <p>○ ベンチャーエコシステムの構築を図るため、大阪における支援の取組みやベンチャー企業の紹介を行うなど、喫緊の課題である「情報発信の強化」や「推進体制の構築」に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府内における創業機運の醸成と創業促進 ・有望起業家の発掘及び着実な成長支援 ・株式の新規上場をめざすベンチャー企業への支援 	<p>◇ 成果指標（アウトカム）</p> <p>（定性的な目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「情報発信の強化」や「推進体制の構築」について、関係団体（近経局、大阪市、堺市、経済3団体）と議論を深めながら、オール大阪でのベンチャーエコシステム構築に向けた取組みを促進する。 	<p>○ オール大阪でベンチャー企業のグローバル展開を推進するため、近畿経済産業局、大阪府、大阪市、堺市、関西経済連合会、大阪商工会議所、関西経済同友会で構成する「大阪ベンチャーエコシステム推進連絡会議」を設置(H30.7)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全構成団体の「ベンチャー支援施策」と「支援するベンチャー企業」を一元的にまとめ発信するホームページを作成(H30.8)。同HPの一部を英語表記化(H30.10)。 ・4 回の会議を通じ、「効果的な情報発信の手法」及び「具体的な連携方策」について検討し、連携強化を図った。

中小企業の底上げとイノベーション創出に向けた取組みの支援

＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）＞	＜何をどのような状態にするか（目標）＞	＜進捗状況（H31.3月末時点）＞
<p>■金融機関等と協調し、中小企業の成長・発展等を後押しする制度融資の活用を推進する</p> <p>○成長支援型融資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関が自らの強みを活かし制度設計を行う「金融機関提案型融資」を実施 ・AI・IoTの推進等を図る「設備投資応援融資」を実施 ・「金融機関提案型融資」において、中小企業の海外展開を支援する制度の創設に向けて取組む ・「小規模企業サポート資金」を実施 <p>○セーフティネット融資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営の安定を支えるセーフティネット融資（「経営安定資金」）を実施 	<p>◇成果指標（アウトカム）</p> <p>○成長支援型融資＜融資件数＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関提案型融資 2,100件 ・設備投資応援融資 650件 ※設備投資応援融資（保証付）、金融機関提案型融資（設備投資特別枠）、設備貸与事業の合計 ※市町村との連携をさらに推進 市町村連携型設備投資応援融資（H30年度～） 茨木市、柏原市、堺市、八尾市、泉佐野市、貝塚市の6市で実施中 ・小規模企業サポート資金＜融資件数＞ 4,800件 	<p>○成長支援型融資による融資件数</p> <ul style="list-style-type: none"> 金融機関提案型融資 1,377件 設備投資応援融資 659件 小規模企業サポート資金 5,149件 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村連携型設備投資応援融資について、新たに大阪市が制度を創設（8月）。平成31年度から河内長野市も制度創設（合計8市町村）。 ・金融機関提案型融資について海外展開を支援する融資メニューを創設（2金融機関2メニュー） <p>○経営安定資金の融資件数：1,464件 うち、大阪府北部を震源とする地震に係るもの：390件</p> <p>○台風21号への対応として、国に対しセーフティネット保証の発動を要請。また、同保証の発動を受けて、経営安定資金に比べ金利等の融資条件を緩和した「台風21号対策資金」を創設（10月9日取扱開始）。 融資件数（3月末現在）：1,206件</p>

■金融機関との連携を強化し、府施策を発信するなど、より効果的な中小企業支援につなげる

- 連携協定を締結している金融機関（*）をはじめ、府内に拠点を持つ地銀、信金等との連携した取組みを拡大・深化させる。
（*）りそな銀行、近畿大阪銀行、池田泉州銀行、大阪信用金庫、大阪シティ信用金庫、永和信用金庫

※参考（H29 年度実績）

- ・中小企業向けセミナーや合同企業説明会等の開催数：32 回
- ・中小企業向けセミナーや合同企業説明会等への参加企業数：延べ 1,546 社

■(地独)大阪産業技術研究所における研究開発から製造までの一貫通貫の技術支援をサポートする

- 府内中小企業の多様なニーズに応えるため、同研究所和泉センター・森之宮センターが保有する強みや企業等のネットワークを融合させ、技術支援の総合力を高める。
- 研究開発から製造までの一貫通貫支援が可能な新研究所の強みや幅広い支援サービスを府内中小企業等に PR する。
- 国際規格に対応する性能評価施設（電波暗室、LED センター）等の活用を通じ府内中小企業の国際競争力の強化を支援する。

◇成果指標（アウトカム）

（定性的な目標）

- ・AI、IoT の導入やグローバル化、人材確保など時宜を得た取組みを進め、中小企業の経営力・業績向上につなげるという方針のもと、金融機関との連携を強化する。

◇成果指標（アウトカム）

- ・製品化成果事例件数：29 件
- ・知的財産出願・保護件数：33 件

◇活動指標（アウトプット）

- ・受託研究・簡易受託研究実施件数：775 件
- ・企業支援研究実施件数：48 件
- ・学会発表・技術支援・主催セミナー等の技術支援の発信件数：987 件
- ・電波暗室の国際規格（VLAC）認定：平成 30 年 10 月頃（予定）

- 中小企業支援策の利用を促進し、府内中小企業の経営力・業績改善につなげるため、金融機関との連携を深化・拡大。
・成長産業振興・中小企業支援・雇用推進に係る 24 の事業を一覧にし、25 金融機関に対し各事業の連携を提案
・AI、IoT の導入、人材確保など、38 の府支援施策の案内パンフレットを 20 金融機関に配布し、行員を通じた中小企業への施策 PR を実施し、施策の活用を促進
・中小企業向けセミナーや合同企業説明会の開催数：40 回
・中小企業向けセミナーや合同企業説明会等への参加企業数：延べ 1,935 社

- 大阪産業技術研究所の経営会議（年 5 回）等に参加し、府政に関する情報提供のほか、研究所の経営状況や事業の進捗について助言・指導などを行い、研究所における技術支援をサポート。

⇒研究所による中小企業支援実績

- ・製品化成果事例件数：33 件
- ・知的財産出願・保護件数：40 件
- ・受託研究・簡易受託研究実施件数：968 件
- ・企業支援研究実施件数：64 件
- ・学会発表・技術支援・主催セミナー等の技術支援の発信件数：989 件
- ・電波暗室の国際規格（VLAC）：平成 31 年 1 月に認定

■ MOBIO における国内外に向けた情報発信と交流機会の提供、ブランド力向上に取り組む

- 府内ものづくり中小企業の情報収集力を強化するため、企業と情報、企業と企業を「つなぐ」機会を提供する。
 - ・MOBIO-Cafe/Forum(セミナー・企業間交流)
- HP 等による情報発信を含め、全国最大級の常設展示場の運営を通じ、国内外からの来場者を増加させるなど府内ものづくり企業のポテンシャルを発信する。
- 高い技術力を有し QCD（品質・コスト・納期）等の総合的に優れた企業や、消費者への訴求力などに優れた新製品を認証し国内外に情報発信する。
 - ・大阪ものづくり優良企業賞
 - ・「大阪製」ブランド認証製品
 - ・「匠」・「大阪製」認証企業 PR パンフレット（冊子）の多言語化（英語表記）

◇成果指標（アウトカム）

（定性的な目標）

- ・ものづくり中小企業が、MOBIO の支援機能を活用し、必要な情報収集や企業間交流、ブランド力向上等により、ものづくり企業の経営力と製品の付加価値向上を図る。

（数値目標）

- ・大阪ものづくり優良企業賞（匠）
既認証企業(583 社、29 年度認証企業除く)のうち、取引が増加した企業の割合：54%
 - ・「大阪製」ブランド
既認証企業(67 社)のうち、販売先が増加した企業の割合:66%
- ※上記いずれも前年度実績値

- 中小製造業の売上と利益の拡大を図るため、MOBIO における情報発信・交流機会を提供。
 - ・MOBIO-Cafe/Forum（セミナー・企業間交流）開催数：91 回
 - ・MOBIO-Cafe/Forum 参加者数：2,756 人
- 認証制度の実施等を通じたブランド化の推進を実施。
 - ・ものづくり優良企業賞 応募企業数：78 社
 - ・「大阪製」ブランド認証製品 応募企業数 24 社
- 大阪ものづくり優良企業賞（匠）を受賞後、取引が増加した企業の割合：54.2%
（これまでに認証を受けた企業 583 社（平成 29 年度認証企業を除く）中、226 社が回答）
- 「大阪製」ブランド
認証により販売先が増加した企業の割合：64.3%
（これまでに認証を受けた企業 67 社中、43 社が回答）

■ AI・IoTをはじめとする第4次産業革命関連の技術の導入や技術開発を、近畿経済産業局や関係機関と連携しながら促進する

- 中小企業の第4次産業革命関連技術の活用を図る。
 - ・初期段階の技術開発に対する「ものづくりイノベーション助成金」に「第4次産業革命枠」を創設
- 大阪府 IoT 推進ラボ事業により、府内中小企業の IoT 導入を支援する。
 - ・セミナーや中小企業診断士による IoT 診断等を実施
- オープンイノベーションの促進による第4次産業革命関連の技術の活用を支援する。
 - ・オープンイノベーションを促進するためのセミナーやワークショップを開催
 - ・協業にむけた企業単位のコンサルティングを実施
 - ・コンサルティングを踏まえ、協業先企業の開拓及び事業提携を促進

◇ 成果指標（アウトカム）

（定性的な目標）

- ・第4次産業革命関連技術を活用した生産性向上等の取組みを支援し、府内ものづくり中小企業の競争力強化を図る。

- ものづくりイノベーション助成金(第4次産業革命枠)により、第4次産業革命関連技術を活用した技術開発を支援。
 - ・ものづくりイノベーション助成金(第4次産業革命枠)：7件助成金を交付
- IoT 推進ラボ事業により、府内中小企業の IoT 導入を支援。
 - ・IoT 推進ラボ事業：セミナー3回 228人、IoT 診断18件実施
- オープンイノベーションによる第4次産業革命関連技術の活用を支援。
 - ・新事業創出オープンイノベーション促進事業：セミナー等3回 190名、ハンズオン支援7社

■企業情報の収集機能や支援機関とのネットワークといったリソースを活用して、中小企業のグローバル化への対応を支援する

- グローバル化に伴う資金調達ニーズ等への対応
 - ・中小企業の海外展開事業展開に係る資金調達ニーズへの対応方策を検討
- グローバル化に対応した中小企業の知財戦略の支援
 - ～INPIT(*7)近畿統括本部との連携～
 - ・INPIT 近畿統括本部と連携し、セミナー・相談会等を実施
 - ・INPIT 近畿統括本部との適切な役割分担の下、効果的に継続的な連携を強化
- 金融機関等との連携によりアジア経済等の動向や現地ニーズ、リスク等に関するセミナーを実施
 - ・金融機関や商工会議所等と連携し、海外進出意欲のある中小企業を対象にセミナー等を実施
- MOBIO における国内外に向けた情報発信と交流機会の提供、ブランド力向上に取り組む【再掲】
 - ・ネット（HP）等による府内ものづくり企業のポテンシャルの海外（企業・政府関係者等）への発信
 - ・常設展示場での海外からの視察受入

◇成果指標（アウトカム）

（定性的な目標）

- ・制度融資（金融機関提案型融資等）における海外展開支援メニューの創設
- ・INPIT 近畿統括本部と MOBIO（知財総合支援窓口）、各支援機関の連携による府内中小企業の知財戦略支援を推進する。

（数値目標）

- ・セミナーや相談会を通じ、INPIT の相談につなげた件数：30 件

- 府内企業が海外展開する際に必要となる運転資金・設備資金を融資する「海外展開支援資金」について、10 月より新たに、りそな銀行、大阪信用金庫の 2 金融機関がメニュー創設。既存の大阪シティ信用金庫と併せ、3 金融機関で実施中。
- 支援機関等との共催で、海外展開における知財リスクの低減等に関するセミナーを開催。当該セミナーを通じ、30 件を INPIT への相談につなげた。